

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.285

1月号

2013年

愛知



発行・編集 一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス)http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

・今月の視点・

新年あいさつ

一般社団法人 愛知ビルメンテナンス協会
会長

勝野 隆

新年明けましておめでとうございます。

日頃ご指導いただいている関係官庁、関係の各団体、そして会員の皆様におかれましては、清々しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

しかしながら、東日本大震災で被災された多くの方々が、未だに仮設住宅での不便な生活や、家族離散の厳しい生活を余儀なくされ、復興も道半ばにあることに対しまして、あらためてお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

そして、昨年12月2日に発生しました、中央道 笹子トンネル天井板崩落事故で9名の方がお亡くなりになられました事、衷心からお悔やみ申しあげます。この原稿作成時では真の原因が把握できていませんので軽々しく申し上げられませんが、メンテナンスが肝要であると痛感いたした次第であります。

さて、昨年は東日本大震災の傷跡も癒えぬまま、欧州の経済危機に端を発する超円高の状況が常態化し、更に、尖閣列島問題で先鋭化した日中関係の悪化、日中貿易の冷え込みも、年を越すことになり、経済環境は未だ先行き不透明な状況が続いております。

加えて、労働集約型産業であるビルメンテナンス業界にとって、労働関連法案の矢継ぎ早の改定は、ただでさえ厳しい経営環境を、更に悪化させる懸念があります。

平成21年度からマイナス成長が続く当業界にとっては、こうした状況をどう乗り切るかが今年度においても最大の課題であります。省エネ・CO₂削減などで社会貢献する事は重要度が高まって行くものと考えています。

昨年11月～12月、国土交通省のご後援を戴いて全国協会の主催により、官公庁の契約ご担当者を対象にした「保全業務マネジメントセミナー」が東京、大阪、北海道、愛知の4箇所で開催されました。

このセミナーでは、契約・仕様履行がなおざりの超低価格が続いている事による劣悪な品質を齎している事例を紹介しながら、入札・発注するに当たり具体性を持った仕様書の必要性を始め、契約で留意するポイント、とりわけ品質評価の必要性等について解説されました。参加された官公庁の皆様が熱心に聴講されていました。ご理解を深めていただくことになったのではないかと思っております。

従いまして私たち会員企業は今後も、当たり前の事であります金額

に相応した、或いはそれ以上の品質をご提供する事に努め、ユーザーからのご信頼を高めて行く事ではないでしょうか。

私が顧客満足(CS)・品質を考えますに常常思っています事の一つに、CS=Q・P・S(品質・価格・サービス)というのがあります。ここでいうSとは、挨拶やマナー笑顔などありますが、このSはお客様に爽やかさを感じていただけますうえにコストはかかりません。そして大企業・中小企業が同じ土俵で対等に競う事が出来るのであります。そして何よりもその人の人間性が豊かになります。

ところで私は、全国協会品質管理委員会の委員長を仰せつかっておりますが、この委員会でインスペクションの第三者評価の仕組みについて検討しており、今後、会員、ユーザーへのマーケティング、アンケートを実施したうえで何らかの形で組織の立ち上げに着手することとしております。

そして、今後、入札にあたって、インスペクションに関する人的・質的要件(インスペクターの有資格者を置くこと、業務を受けたら自主品質評価の実施と報告義務など)を入札要件に加えるよう、官公庁への働きかけを強め、実現を図っていく必要がありますが、その意味で今回の「保全業務マネジメントセミナー」は重要な一步であったと認識いたしております。

さて、当愛知協会は、来年2月に設立50周年の節目を迎えます。

問題山積の中ではありますが、現在、記念事業を来年の6月の時期に実施すべくその準備に取り掛かっております。これまでの歴史を検証し、一般社団法人としての今後の協会のあり方を深く検討のうえ、未来志向の意義深い記念行事としたいと考えているところです。

これからの新しい協会は、会員の皆様のために真に有益な団体となることを目指すことはもとより、今後とも建築物の安全で衛生的な環境確保に努め社会に貢献いたします事と、社会の変化の流れを掴み新たな前進に取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様には、これまで協会の各種事業にご支援、ご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げますとともに、今後、なお一層、ご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げ、年頭にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて

愛知県知事
大村秀章



自立した立場から 日本を牽引する ナゴヤへ

名古屋市長
河村たかし



あけましておめでとうございます。

県民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、長期化する円高、中国等をめぐる対外環境の変調、東日本大震災からの復興、エネルギー政策の転換など、国内外の様々な課題が山積する中、愛知が、日本のど真ん中から国を支え、引っ張っていくとの決意のもと全力で県政運営に当たってまいりました。

今年は、さらに、明るい希望が持てる、活力と豊かさに満ちた愛知づくりに邁進してまいりたいと思っております。

このため、世界と闘える愛知の実現に向け、昨年4月創設の産業空洞化対策減税基金を活用した企業立地や研究開発に対する支援、基幹産業である自動車産業の競争力強化、航空宇宙産業を始めとする次世代産業の育成・振興、そして、すそ野を支える中小企業の振興など、日本一の産業力に一層の磨きをかける取組を積極的に推進してまいります。

また、観光や農林水産業についても、愛知の強み・特色を生かした更なる活性化を図るとともに、道路等の社会基盤整備や東三河県庁を核とした地域振興などにも拍車をかけ、愛知の総合力をさらに高めてまいります。

さらに、南海トラフ巨大地震を想定した地震防災対策の強化、交通事故死者数全国ワースト1位の返上に向けた交通安全対策、少子高齢社会に対応した医療・福祉の充実など、県民の皆様の安心・安全なくらしの確保にも力を注ぐほか、次代を担う子どもたちの教育、ものづくりを支える人材の育成など、元気な愛知の基盤となる「人づくり」にもしっかりと取り組みます。

さて、今年は、国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2013」が開催されます。また、翌年には、「持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会」の開催も控えています。しっかりと準備を進め、地域の活力を生み出す原動力としてまいります。

引き続き、厳しい財政状況が続きますが、徹底した行財政改革を進めながら、愛知の更なる発展に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十五年元旦

あけましておめでとうございます。一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は建築物の衛生管理業務を通じて、公衆衛生の向上にご協力をいただいておりますことに深く感謝いたします。

昨年の衆議院選は、長く我が国に蔓延する閉塞感を打破するため、停滞・迷走する国政に対し、地方から国を変えようと声があがつた選挙となりました。地方分権・地域主権という言葉が使われて久しくなりますが、交付税や補助金など、国からの財政的支援を受けないことには地方自治体の運営が成り立たない中央集権的な構造を改め、自立した地域がその特色を活かして全体を牽引する国のかたちが求められております。このような地方の声を国政へ確実に反映していくためにも地方自治体の首長と国会議員の兼職を可能にする仕組みが必要であると考えており、指定都市市長会において、この制度の検討を国に求めていくこととしております。

また、2027年に予定されているリニア中央新幹線開業は、この地域の活性化に向けた絶好の機会であり、ストロー現象などの懸念を払拭し、世界に冠たるナゴヤ大都市圏として大きく飛躍するための非常に重要なターニングポイントと考えています。そのためにも、都市の魅力により一層磨きをかけていかなければなりません。

名古屋市には、今年創祀1900年を迎える熱田神宮や、これと名古屋城をつなぐ堀川など、数多くの歴史的・文化的資産があります。また世界の金シャチ横丁、金城ふ頭開発の推進や名古屋城本丸御殿の復元など新たな魅力づくりに取り組んでおり、古来の魅力再発見を併せて、活気とエンターテイメント性にあふれたまちづくりを進めます。今年2月には、「SLの聖地ナゴヤ」を目指す取り組みとして、あおなみ線における蒸気機関車の実験走行で、27年ぶりにSLが名古屋を走ります。また5月には近世城郭御殿の最高傑作といわれた名古屋城本丸御殿の玄関・表書院の公開を予定しております。

一方、個人・法人市民税では日本初の恒久減税である市民税5%減税や、子ども医療費助成、ワンコインがん検診、任意予防接種の費用助成など「日本一の医療都市ナゴヤ」としての取り組みを進めおり、市民の皆様が住んでいることを自慢できるようなまちを目指してまいります。

名古屋が我が国を牽引するエンジンとして今後とも発展していくことができるよう、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成25年元旦

新春のご挨拶

愛知労働局長
新宅友穂



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、労働行政の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。本年も、一層のご支援をお願いいたします。

さて、雇用情勢ですが、昨年前半は、基幹産業である自動車産業がエコカー補助金や、北米、新興国の好調な販売に支えられて高いレベルの生産が続き、他の産業もそれに牽引されて求人数が増加し雇用状況は緩やかに改善していましたが、秋以降は製造業の求人増加が一巡したことに加え、欧州、中国を始めとした海外の景気減速等の影響により生産は減少しており、改善の動きに足踏みがみられるところです。

こうした状況の中、愛知労働局としては、わが国の将来を担うべき若者の安定した雇用を確保することを当面の最大の課題と位置づけています。新規学校卒業予定者の就職環境は、引き続き厳しい状況にあることを踏まえ、「愛知新卒応援ハローワーク」を中心に、大学・高校と密接に連携し、学生、生徒への個別支援に力を入れております。さらに、昨年10月には、正規雇用を目指す若者を専門的に支援する拠点として「愛知わかものハローワーク」を設置し、フリーター支援体制を充実したところです。

また、急速に進む少子高齢社会に対応するため、高齢の方や障害のある方など、より多くの人たちの就労促進による「全員参加型社会」の実現と、非正規労働者の雇用の安定等を図る「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」の実現に取り組んでまいります。女性の活躍を促進し経済活性化を図るためにポジティブ・アクションの取組の促進も重要です。これらの課題解決のために昨年法改正等が行われた労働者派遣法、労働契約法、高年齢者雇用安定法、さらに障害者雇用率制度についても、その周知と円滑な施行に全力を挙げて取り組む所存です。

さらに、解雇や賃金不払い等の様々な労使間のトラブル、いじめ、いやがらせ等の相談が依然として高水準で推移し、労働者をとりまく環境は厳しい状況にあります。法定労働条件はいかなる経済情勢下でも確保されなければならないものであり、問題のある事案については迅速かつ適切に対応してまいります。併せて、死亡・重大災害の撲滅、休業災害の減少、過重労働の解消、メンタルヘルス対策の推進、最低賃金の遵守の徹底、仕事と生活の調和等を図る必要があります。

愛知労働局においては、総合労働行政機関としての機能を十分に發揮するとともに、関係機関と連携し、地域の実情を踏まえて以上の課題に積極的に取り組み、労働行政の推進に全力を注いでまいります。

最後に、本年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

愛知県健康福祉部
健康担当局長
加藤欽一



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから本県の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、公益法人制度改革による新公益法人制度の施行に伴い、昨年6月1日をもちまして一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会として新たに発足されました。今後ともビルメンテナンス事業を通じて、建築物衛生を始めとする生活衛生の向上に引き続き御尽力いただきますようお願いします。

さて、平成23年3月に発生しました東日本大震災の影響により、様々な分野で昨年においても節電の取り組みが行われてきましたが、今期におきましても、暖房や照明時間の延長による電力需要の増大が予想されることから、皆様におかれましては、節電に取り組みつつ、建築物の衛生的環境の確保に努めていただきますようお願い申し上げます。

また、近年、人の健康や環境への県民の関心はますます高まっており、生活や活動の場である建築物においても、安全で衛生的であるだけでなく、人や環境にやさしい維持管理が求められています。

このような中、平成20年に建築物衛生法に基づく建築物環境衛生維持管理要領が改定され、ねずみ等の防除を行うに当たっては、総合的有害生物管理、いわゆるIPM(Integrated Pest Management)の考え方を取り入れた防除体系に基づき実施することされました。

そこで貴協会を始めとする業界団体と、本県を始めとする行政機関が一体となってIPMを推進すること目的として、「愛知県IPM推進会議」を平成23年11月に立ち上げ、IPMに基づくねずみ・昆虫等防除の推進に努めて参りました。その一環として、来る1月31日(木)に鶴城ホール(名古屋市中区)においてIPMを推進するための講習会が開催される運びとなりました。是非とも関係の皆様方から多数の御参加をいただきますとともに、引き続きIPMの普及啓発に御協力いただきますようお願い申し上げます。

本県いたしましては、今年も県民の皆様の安心・安全のため、課題の一つ一つに対し着実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成25年元旦

新年のご挨拶



愛知県警察本部 生活安全部長
神谷 満寿穂

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、旧年中は、日々の警備業務を通じまして、犯罪や事故の未然防止に真摯に取り組んでいただきましたことに厚く御礼を申しあげます。

さて、愛知県の犯罪発生状況をみると、刑法犯認知件数は、昨年(11月末)97,150件で、前年の年に比べて13,040件、11.8%の減少であり、数字的には治安情勢は回復に向かっている状況にあります、「住宅対象侵入盗」「自動車盗」の発生件数は依然として全国でも上位にあり、治安水準が十分に回復したとは言えず、県内の治安情勢はまだまだ厳しいものと受け止めております。

警察としましては、真に県民の方々の「安全・安心」を確保するために、これまでの取組みの成果を確実に定着させながら、地域の犯罪情勢に即した警察の諸活動を戦略的に展開し、地域住民、事業者、関係団体、自治体等の方々と連携協働して、犯罪に強い社会、犯罪が起きにくい社会の実現に向けて、犯罪抑止対策、振り込め詐欺対策などの各種施策を強力に推進してまいり所存であります。

現在、県内には約700の警備業者、34,000人を超える警備員の方々が施設警備業務を中心として幅広い分野で活躍されており、警備業は県民の自主的な防犯活動を補完・代行する生活安全産業として、極めて重要な役割を担っており、今や社会の安全に欠くことの出来ない存在となっております。

その社会の要請、信頼に応えるためにも、今まで以上に質の高いサービスの提供が求められているところであります、そのためには基盤となる警備員の資質、能力の向上と契約に基づいた警備業務を適正に実施することが重要であります。

貴協会におかれましても、ビルクリーニング、設備管理、施設警備等のビルメンテナンス事業における各種講習会等を通じて、各分野における専門的知識、技能の向上を図っていただくとともに、生活安全産業としての業界の発展にご尽力されることを期待するものであります。

また、会員の皆様におかれましては、県内の厳しい治安情勢を充分にご理解いただき、本年も引き続き治安回復のためにお力添いいただきますようお願い申しあげます。

最後に、愛知ビルメンテナンス協会の一層のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申しあげまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成25年元旦

年頭のご挨拶



名古屋市消防長
野田 和義

新年あけましておめでとうございます。

平成25年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、日頃から市民の安心・安全のため献身的にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、国において南海トラフの巨大地震による震度分布や津波高、津波浸水域並びに建物被害や人的被害の想定が公表されました。この想定は、現時点の最新の科学的知見から、起こりうる最大クラスの地震と津波を推計しているものでございます。本市におきましても、現在、これらを参考に、本市のとるべき対策を明確に示すことができるような、東海・東南海・南海三連動地震などの被害想定の調査を進めているところです。

大規模な地震災害などへの対応においては、地域防災力が重要なカギとなります。「市民、地域、企業及び行政が一体となった防災協働社会」を構築し、普段から地域防災力の向上に努めることが大切です。このようなことから、本市においては、事業所が所有する敷地や保有資器材などを災害時に地域へ提供いただくという「大規模災害時における事業所と地域の支援協力に関する覚書」の締結を平成12年度から推進してまいりました。また、平成20年度に創設した「地域防災協力事業所表示制度」が普及し、「災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて着実に前進しており、深く感謝を申し上げます。

本市といたしましても、他の消防機関や防災関係機関との連携強化を一層推進するとともに、皆様と力を合わせて震災対策に取り組んでまいりますので、協会員の皆様には、今一度、管理する建物の防災体制や自衛消防訓練について見直していただきたいと存じます。

一方、火災発生件数は、住宅用火災警報器の義務化による効果などもあり、減少傾向にあります。今後は、住宅用火災警報器の部分設置世帯を含む未設置世帯への設置促進と併せて、既に設置されている世帯に対する適正な維持管理についての周知を行い、住宅火災による被害が更に減少するよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

安心・安全なまちづくりを推進する上で、防火・防災業務にご尽力いただいている皆様のお力は益々重要なものとなっております。本年も消防・防災行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会並びに貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願ひします。



副会長 水藤 維人



副会長 今村 孝治



副会長 加藤 廉司



理事 本多 清治



理事 堀口 弘



理事 吉田 治伸



理事 上道 廣巳



理事 田中 宏



理事 福岡 輝道



理事 山本 幸一



監事 大澤 隆



監事 加藤 義幸



監事 南 宏和



相談役 武村 節雄



相談役 吉田 銑三

■臨時総会

平成24年12月7日(金)、冬期研修会・忘年懇親会に先立ち、アイリス愛知で臨時総会が開催されました。全国協会の総会代議員選出のための選挙管理委員を選出するための総会でしたが、異議なく可決されました。選出された委員は、以下のとおりです。

なお、任期は、平成24年12月7日から平成26年12月6日までの2年間です。

委員長 深谷英一郎(東海ビル管理(株))
副委員長 酒井秀京(豊興業(株))
委員 大岡三洋((株)三清社)
飯田英貴((株)ダイケングループ名古屋支店)
川井克己((株)昭和美装)
今井正治(名古屋ビルサービス(株))
橋本祥治(東海美装興業(株)名古屋営業所)
以上7名(敬称略)



■冬期研修会・忘年懇親会

平成24年12月7日(金)アイリス愛知で平成24年冬期研修会・忘年懇親会が行われました。

研修会は、講師に和紙工芸作家の橋本昇三氏を迎えて、「日本人と和紙」と題して講演をいただきました。

講師の生い立ち、小原和紙の歴史から話を始められ、いかに文化が大切か、又、いかに和紙の世界が奥深いかについて触れられました。世界と立ち向かう上で、最後は文化の力というお話を印象的でした。

参加者にとって、大いに参考になる、有意義な研修会となりました。



恒例となりましたビンゴゲームでは、趣向を凝らした賞品がたくさん用意され、大いに盛り上がりました。

最後に福岡厚生委員長の閉会の挨拶で無事終



了となりました。

厚生委員会の皆さん、ご苦労さまでした。

（なお、来年度は、12月第2週の金曜日
(平成25年12月13日(金))に開催予定ですので日程に組み入れていただきますよう、お願ひいたします。）

■平成24年度安全衛生パトロール実施結果について

労働安全衛生委員会

実施期間 平成24年11月13日(火)～11月27日(火)延べ7日間

実施事業所 会員が業務を行っている事業所のうち清掃管理業務7事業所、設備管理業務2事業所を選定し実施した。

パトロール員 13名(労働安全衛生委員会)

実施方法 2名1組で各事業所を訪問し、あらかじめ示した清掃管理業務21項目設備管理業務17項目について聞き取りあるいは現地確認を行い、5段階評価をした。

【実施結果】

清掃管理業務

7事業所のうち全て「5」の評価を得た事業所が3箇所。なお、1箇所について、週2日勤務体制で、パトロール当日、作業員が不在のため点検不能の点が多く、今回の実施結果には反映していない。(6事業所 平均点4.7点、最高5点、最低3点)

(パトロール員の評)

概況

・清掃スタッフ40名超の大規模商業施設の現場であるが、控え室、倉庫とも5Sが行き届いていた。
・15,000m²の広さの施設を8～10名のシフト制で業務を実施、控え室、資機材倉庫、ゴミ集積所いずれも改善すべき点は無かった。人身事故も発生していない。
・不特定多数の利用客がある各種イベント会場を兼ね備えた宿泊施設であるが、作業環境において十分な安全対策に心配りがされていた。
・安全衛生委員会、EMS委員会、マナー向上委員会を開催し、事故防止等に取り組み、4年間事故発生なし。職場に温かみを感じた。社員30名中社員2名、残りはパートの構成で、長期休暇が発生する際の従業員確保に苦慮されている。
・清掃開始から5年経過したが、無事故で、毎月、安全衛生委員会を開催、4ラウンドKYの実施を始めた。チームワークが良く、指導が徹底されていると感じた。
・障害者雇用を積極的に行い、障害者の業務経験も豊かで、安定した事業所であり、仕様書、報告書、緊急対策、備品台帳等の設置も完全で、安全面での配慮もされていた。

改善するとよいと感じた内容

・道具、機械、倉庫は整理されているが、他の施設従業員のものと混在していたり、使用不可能な機械等があったため、一度仕分けをするようお願いした。

・マニュアル等は配備されていたが、作業仕様書が配備されていなかったので、社員の目の届くところに配備するようお願いした。

・控え室に配備している資料等の見直しを行い、5Sを進める良いと感じた。又、資材倉庫の整理を進めると更に良くなる気がした。

・ゴミ集積所に少しスロープになっている箇所があること、又、別の仕切りが少し不安定であることから、社員に注意喚起をお願いしたい。(オーナーに改修を提案すると良い。)

・ボリッシャー・送風機等の差込プラグが市販の樹脂製部品で修理され絶縁テープで保護されていた。内部で接触不良を起こす可能性があるので、ゴム製(キャブタイヤケーブル用)に交換するよう指導した。又、送風機のコンデンサー過熱による発火等の可能性もあるので電動機器について、定期的に絶縁測定するよう指導した。

設備管理業務

パトロールを実施した2事業所とも、全て「5」の評価であった。

(パトロール員の評)

概況

・通信事業会社のオフィスビルで、3名のスタッフで業務。(宿直なし)保守検針、点検が主で、目立った危険因子は無い。高所作業等もあるが、複数の作業員で行なうことがルール化されている。控え室は整理整頓され、業務日誌、緊急連絡リスト、検針記録類のほか、低電圧計測機器も整然と保管されている。ヘルメット、ゴム手袋、脚立等保護具の管理も適正に実施されている。又、万一の事故、災害時の連絡体制も整っており、全館一斉に消火器操作、避難はしごを使った訓練も実施されている。
・隣接する資源化センターの余熱を利用して熱源を確保(キューピック受発電設備)する公共の健康増進施設(プール、トレーニングルーム、浴場完備)で、電気室の類が無く、中央監視室も必要が無い。トレー、雑用水は雨水をフル活用している(400tの地下タンク)。安全面は、KY、KYMといったリスクアセスメントを活用し、外注業者にも全て徹底されていた。全館禁煙で、冷暖房もキューピックであることから安全性は高い。システム点検は年2回、1ヶ月間づつ実施。エレベーター(三菱製)は月1回モニター点検、年1回定期点検を実施し安全性を確保している。モデル施設で、視察も多く、日々緊張感の中で業務を行っていることから、大変良い管理状態にある。

改善するとよいと感じた内容

・特になし

■こども絵画コンクール愛知協会長表彰式

(公社)全国ビルメンテナンス協会が主催した「第6回ビルメンテナンスこども絵画コンクール」に本年度も当協会として協賛、応援するとともに、応募作品(全国で9,961点)のうち愛知県内からの応募作品(479点)を対象に「愛知協会表彰」を実施しました。

広報委員会における審査の結果、最優秀作品の「会長賞」に輝いた名古屋市立陽明小学校5年生の原 瑞葵さんの表彰を、平成24年12月6日(木)10時30分から、陽明小学校の校長室で

校長先生もお立会いいただき行いました。

勝野会長から、賞状と賞品が手渡されました。原さんは昨年度も銀賞に選ばれており2年連続の受賞となりました。笑顔が印象的でした。おめでとうございます。

なお、全国表彰では、昨年度、愛知協会会長賞を受賞した高浜市立翼小学校の清水夢生くんが、文部科学大臣賞に選ばれました。こちらも、2年連続の栄誉となりました。

今年多くの作品の応募を期待しております。



■理事会・各種委員会等

◆第6回理事会

開催日時 平成24年12月7日(金)15時～

開催場所 アイリス愛知 2階 サフラン2

出席者 勝野会長始め12名の出席を得て、勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

- ・臨時総会について
- ・冬期研修会(忘年懇親会)について
- ・役員選考委員会について
- ・当面の諸問題について
- ・委員会報告・全協報告

◆第1回労働安全衛生委員会

開催日時 平成24年12月13日(木)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

審議事項 ・労働安全衛生大会(25.2.6)の運営について
・平成24年度労働安全衛生パトロール実施結果について
・労働安全衛生ポスター、ヒヤリハット事例、標語の審査

◆第7回広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成24年12月13日(木)11時～

開催場所 協会事務局会議室

審議事項 ・ビルメンニュース1月号の構成について

◆第2回50周年記念事業打合せ

開催日時 平成24年12月13日(木)10時～

開催場所 協会事務局会議室

審議事項 ・50周年記念誌業者選定について

会員の動き

1月1日現在会員数
普通会員 126社 賛助会員 21社

普通会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
24.10	中央管理(株)	登録者	新 代表取締役社長 端野 俊 旧 代表取締役社長 平井 澄夫
24.12	日本ビルメンテナンス(株) 名古屋支店	住所	新 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15 名古屋ディーアイシービル B2F 旧 〒460-0008 名古屋市中区栄5-26-39 タカシマ名古屋ビル 6F
		TEL	新 (052) 684 - 4840 旧 (052) 241 - 7601
		FAX	新 (052) 684 - 4841 旧 (052) 241 - 7610
	(株)モダン装美	代表者・登録者	新 代表取締役社長 福岡 秀樹 旧 代表取締役社長 福岡 守男
	(株)INAXメンテナンス	退会	

賛助会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
24.11	サラヤ(株) 名古屋営業所	登録者	新 次長 荒川 学 旧 拠点長 青木 康司

全国協会からのお知らせ

(平成24年11月28日付 全国協会ニュースから)

感染胃炎の流行に伴う

ノロウィルスの予防啓発について

厚生労働省から、「感染胃腸炎の流行に伴うノロウィルスの予防啓発」の連絡事項が出ました。今期は、特に早い時期から大流行の兆しがあると報道されております。

ノロウィルスが原因での吐瀉物は勿論、原因不明の吐瀉物の処理を行う際には、十分ご注意し、適切な方法で処理を行ってください。

また、処理後は、正しい手洗いとうがいを忘れずに行うよう、従事者の皆さんに確認をお願い申し上げます。

吐瀉物の適切な処理方法については、当協会発行の「吐瀉物処理のマニュアル(会員価格315円)でご確認ください。

平成25年2月の予定

如月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	金		17	日	
2	土		18	月	
3	日	ビルクリ技能検定(学科)名古屋・金沢会場	19	火	
4	月		20	水	
5	火		21	木	建築物環境衛生管理研究集会(名古屋市教育センター)
6	水	労働安全衛生大会(名古屋国際会議場)	22	金	
7	木		23	土	
8	金		24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月	(建国記念の日)	27	水	中部北陸地区本部会議(名古屋)
12	火		28	木	
13	水				
14	木	清掃作業従事者研修指導者(再)講習会(ウインクあいち)			
15	金				
16	土				

賛助会コーナー

おそうじのことなら“プロが無料”アドバイス



キレイがイチバン

Live Light ORIGINAL PRODUCT リブライ特 オリジナル商品



LLオレンジクリーナー



マーベラスIL



マーベラスmini



環境配慮型万能洗剤 LL-21
〒466-0021 名古屋市昭和区小坂町2-2-4
TEL(052)732-8151 FAX(052)732-8150
URL <http://www.livelight.co.jp>



キレイのアドバイザー
株式会社 リブライ特

事務局だより

新年あけましておめでとうございます。

今年も、事務局一同、会員の皆様方のため努力してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、2月末には、事務局が伏見に移転いたします。

引っ越しの準備も、これから本格的に行うことになりますので、移転に伴い、皆様方に何とご迷惑、ご不便をおかけすることになるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

3月1日からは、新事務所での業務を開始いたします。

一般社団法人へ移行し、今年7月には役員改選を控え、更に来年には50周年の節目を迎える協会の新たなスタートに合せる移転となりました。

これを契機として、協会が更に発展できるようになればと思っております。